



よこはま

2022年 10月12日
第232号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7
横浜市技能文化会館 402号
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

「安心・安全・安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして 「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出

9月1日(木)、横浜地域連合は高橋議長をはじめ、五役10人、地区連合代表5人、政策委員6人の参加により、連合神奈川と共に「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。

連合神奈川吉坂会長に続き、高橋議長は「今回の政策・制度要求については各構成組織、産別より寄せられたものを65項目にまとめた。この取りまとめにあたり、6月の施設見学会、業務説明会など、経済局をはじめ関係各所に大変丁寧にご対応いただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げたい。また、今後各地区連合からそれぞれの行政区に対しても同様の要望が提出されると思うが、そちらに対しても誠意あるご対応をお願いしたい。」と挨拶した。

次に山中市長が「皆様にとめていただいた政策・制度要求と提言を頂戴した。皆様からのご提言をしっかりと受け止め、来年度の予算編成に臨む。現在、大きな課題となっている新型コロナウィルス感染症対策であるが、市民の皆様が速やかにワクチン接種できる体制をつくるために柔軟に対応していく。経済支援の対策としては8月26日から始まった『レシ活バリュー』をはじめ、市民の目線での政策を続けていく。また、横浜市は今後人口減少が予想されるが、すべての世代にやさしい街づくりを目指す。特に都市の活動を維持するため、子育て世代、勤労者への予算を充実させていきたい。」と挨拶し、要請書を手交した。



高橋議長から山中市長へ要請書を渡す(手交式)

山中市長からは「①の保育士の研修については、オンライン講習など参加しやすい環境づくりなど検討する。また、宿舍借り上げ支援事業について、保育士が研修しやすい環境整備と宿舍借り上げ支援事業について、高年齢者、交通弱者が気軽に活用できる公共交通機関についての2点確認された。それを受け、山中市長からは「①の保育士の研修については、オンライン講習など参加しやすい環境づくりなど検討する。また、宿舍借り上げ支援事業について、

神奈川県警への要望を県議団に提出!

横浜地域連合は「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」にかかわる神奈川県警への道路交通に関する改善要望の実現に向けて、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議団、立憲民主党・民権クラブ神奈川県議団に要請行動を行った。



曾我部議員に要請書を渡す高橋議長

8月31日、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議団へ要請行動を実施した。横浜地域連合から高橋議長をはじめ五役8人が参加し、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議団からは曾我部川島議員(副議長・戸塚区)、京区、佐藤議員(愛川町・清川村)が参加した。高橋議長、続いて曾我部議員からの挨拶の後、組合員から寄せられた35点の要望を手交した。その後、概要についての説明と

意見交換が行われた。今回の要望は事前に曾我部議員から県警に問い合わせさせていただいており、現時点での回答を基に意見交換がすすめられた。「信号機の設置や時間調節についての課題」「自転車の安全な通行についての啓発」「駐車違反の取り締まり」など、要望に対する県警対応の現状を始め、様々な情報を共有することができた。

9月14日には、立憲民主党・民権クラブ神奈川県議団へ、横浜地域連合から高橋議長をはじめ五役・地区連合代表者、政策委員14人が参加し、立憲民主党・民権クラブ神奈川県議団からは松崎議員(金沢区)をはじめ15人の議員が参加した。松崎議員、高橋議長の挨拶の後、要請を手交した。概要説明に続き、



松崎議員に要請書を渡す高橋議長

横浜市会議員団へ要請行動を行う!

8月1日、横浜地域連合は「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」の実現に向けて、横浜市への提出に先立ち、立憲民主党・民主フォーラムの両市会議員団へ要請行動を行った。



高橋議長から山田大樹議員へ要請書を渡す

まず、14時30分から立憲民主党市会議員団へ要請行動を行った。横浜地域連合から高橋議長をはじめ五役、地区連合代表者、政策委員19人が参加し、立憲市会議員団からは大山団長をはじめ17人の議員が参加した。進行は藤崎政調会長が行い、大山団長、高橋議長の挨拶の後、要請書が手交された。「2023年度に向けた政策・制度要求と提言」の概要について加賀谷事務局長が説明し、それを基に意見交換が行われた。「ものづくりの基盤技術の維持向上や人材育成」「フードバンク活動への市の支援」「コロナ禍での学校教育における子ども同士コミュニケーションの促進」「高齢者の自動車の免許返納促進の手立」など、多岐にわたる要望が述べられた。

面から政策要求に対する意見が出された。続いて15時30分から民主フォーラム市会議員団へ要請行動を行った。横浜地域連合から五役10人、民主フォーラム市会議員団からは小粥団長をはじめ3人の議員が参加した。両代表の挨拶、要請書手交に続いて概要説明が行われ、意見交換となった。「公契約条例」「横浜市の予算上の課題」「中学校給食の課題」「防災拠点の備蓄品」など、こちらも多くの内容に関して貴重な意見交換をすることができた。



小粥団長へ要請書を渡す高橋議長

2022ピースウィーク行動

—地球上からすべての核兵器をなくそう—

例年8月6日から9日を軸としたゾーンで、JR桜木町駅頭において「ピースウィーク行動」を実施しているが、昨年と一昨年は新型コロナウイルス感染症拡大のため街頭行動を行わなかった。今年は開催の方向で準備してきたが、7月下旬からの急激な感染拡大の状況を鑑み、中止と決定した。



高橋議長

連合神奈川と横浜地域連合では、広島・長崎に原爆が投下され、多くの尊い命が奪われた8月6日から9日の時期を「ピースウィーク」と位置づけ、毎年「連合神奈川ピースウィーク行動」を実施している。コロナ感染症の影響がなかった2019年までは、桜木町駅で街頭行動が行われていた。猛暑の時期の活動で非常に厳しい環境の中ではあるが、例年多くの参加者の協力を得て市民の方々へ「平和の尊さ」をアピールし続けてきた。

横浜市は、国際連合から「ピースメッセンジャー都市」の称号を授与され、核兵器のない世界の実現を目指し、核実験を行ったあらゆる国に抗議を行っています。また、国際平和講演会の開催をはじめ、核兵器廃絶に関する啓発も進めています。

ロシアによるウクライナ侵略は、国際社会の平和と秩序に大きな脅威をもたらしています。横浜市は、侵略直後に、世界の恒久平和に向け、即時の攻撃停止と部隊の撤収、国際法を順守した誠意ある対応を求める抗議を行いました。

現在、避難を余儀なくされ、横浜に来られた方々が安全・安心な生活を送れるよう、市民・企業・民間団体等の皆様と手を携え、オール横浜でお支えています。

分断や対立が深まる国際情勢において、核兵器のない平和な世界の実現は人類共通の願いです。そして、それを築くための相互理解や対話の大切さを改めて感じています。

今後も、「横浜市国際平和の推進に関する条例」の趣旨を踏まえ、市民の皆様と御一緒に、国際平和に貢献する取組を進め、平和の尊さを世界に向けて発信していきます。そして、海外の諸都市との連携・協力事業を通じ、飢饉や貧困、環境破壊等の地球規模の課題解決に貢献し、世界平和に貢献してまいります。

令和4年9月
横浜市長 山中 竹春

ピースウィーク行動2022

高橋 卓也

ピースウィーク行動は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い3年連続で機関誌「よこはま」を活用したメッセージ発信となりました。

今から77年前の1945年8月に広島、長崎に原爆が投下され、20数万人の尊い命が奪われました。一瞬にしてすべてが奪われ、その悲しみと苦しみは癒えることなく今も続いています。しかし今も核兵器を保有している国が存在し使用されるのではないかと恐れを抱いています。私が長崎平和記念式典、原爆資料館を見学した時、本当に心が痛みましたし、二度と起きてはならないと強く思いました。横浜地域連合はそのような思いを持って訴えてきましたし、これからも核兵器廃絶のみならず世界の恒久平和の実現を願って諦めずに訴え続けていきます。それが私たちの使命だと思っています。

来年こそは街頭行動を再開して各級議員の皆さんによる訴えや、高校生平和大使の皆さんによる戦争も核兵器もない平和な世界の実現を求める署名活動を実施したいと思っています。このメッセージが核兵器の廃絶と世界の恒久平和の実現について考える契機となれば幸いです。

各級議員により市民の方々へ平和への願いを訴えている。

今年度は6月の時点で感染状況が落ち着いていたため、開催に向けてさまざまな準備を進めてきたが、7月下旬から新規感染者数や県内病床使用率が急激に悪化した。それを受け、横浜地域連合としては参加者の安全確保、感



今回配布した丸ウチワ

染拡大を防ぐ観点から急遽街頭行動を中止とし、各構成組織へのピースウィーク丸うちわの配布、横浜地域連合ホームページでの記事投稿など啓発に努め、核兵器廃絶による世界の恒久平和を目指した。

「第25回政令指定都市地域協議会 連絡会議」

コロナ禍のため、2年延期となっていた会議は6月18日14時から北九州市で行われた。

開催地協の清田議長の挨拶、続けて連合福岡の藤田会長の来賓挨拶の後、北九州市が推進している「SDGs」の取り組みについて、北橋市長から特別講演と北九州市企画調整局の上田SDGsプロジェクト担当部長からの講演があった。SDGsを柱とした北九州市の先進的な街づくりの取り組みが紹介された。

地協報告では、さいたま市地協から内田議長より地協の取り組みの様子や、また大阪市地協からは徳野事務局

長より関西地方における「日本維新の会」の強さの理由についてそれぞれ報告された。

会議後、全体懇親会が感染症対策を行った上で開催されたが、会の最後には来年の開催地協である横浜地域連合を代表して高橋議長が締めくくった。

第26回連絡会議は2023年6月8日、9日に横浜で開催される予定となっており、横浜地域連合として次回開催にむけて準備を進めていく。



連合神奈川結成30周年記念事業 横浜地域連合 第28回 ボウリング大会

当初は2021年6月に予定されていたボウリング大会だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて今年の2月に開催延期となった。しかし、2月の時点で「まん延防止等重点措置」が発出され、再度の延期を余儀なくされたため、1年遅れの開催となった。

今回のボウリング大会は開催延期による実施だったため、昨年の時点で参加申し込みがあった組織のみによる大会となった。

高橋議長、的場議長代行、秋山議長代行の始球式でゲームがスタートした。各地区連合や構成組織から多数ご参加いただいた。



入賞者の皆様

優勝	五味 誠 さん (神教協)
準優勝	吉村正春 さん (全自交)
3位	小田泰司 さん (JAM神奈川)

参加者総数は77人で、結果は次の通り。

6月4日、横浜地域連合はハマボウルにて第28回ボウリング大会を開催した。今回の開催にあたっては、結成30周年を迎えた連合神奈川の記念事業も兼ねての大会となった。

大会は2021年6月に予定されていたボウリング大会だったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて今年の2月に開催延期となった。しかし、2月の時点で「まん延防止等重点措置」が発出され、再度の延期を余儀なくされたため、1年遅れの開催となった。

今回のボウリング大会は開催延期による実施だったため、昨年の時点で参加申し込みがあった組織のみによる大会となった。

高橋議長、的場議長代行、秋山議長代行の始球式でゲームがスタートした。各地区連合や構成組織から多数ご参加いただいた。

大会は大いに盛り上がり、楽しく有意義な交流の場となった。